辰野町行政評価システム

事務事業評価シート（平成20年度実績分）

（1） 事務事業の名称・位置づけ 〔Plan1〕

白色のセルのみ入力してください。（コメントを見ながら入力）

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長（課長等）名	担当者係長名
04101	母子保健事業	保健福祉課	保健係	井口　敬子	河手　潤子
		一次評価年月日	平成 21 年 6 月 29 日	連絡先〔内線〕	2124

事務事業実施の根拠・位置づけ					
予算における位置づけ（会計区分・事業コード・事業名）	会計区分		事業コード	事業名（歳出予算見積書）	
	☒ 一般	☐ 特別	0414	町保健対策推進事業	
	☐ 一般	☐ 特別		#N/A	
第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	（コード選択）	2章	安らぎとうるおいのある社会	
	節	（コード選択）	2節	地方分権化に積極的に対応する	
	項〔基本施策〕	（コード選択）	222	母子保健事業の推進	
	主な取り組み	（コード選択）	2225	乳幼児健康診査	
関連する計画等への位置づけ	☐ 第四次行財政改革大綱	☐ 3ヶ年実施計画	☐ 主要業務報告	☐ その他	
事務期間	（開始） S22 年度 ～ （終了予定） 年度	☐ 開始時期不明	☒ 終期設定なし		

（2） 事務事業の内容（目的と手段を把握します。）〔Plan2〕

①対象（**～に対して**）・・・・・・この事務事業はどんな人（誰・何）を対象に行っていますか。

4～5ヶ月児、1歳児、1歳6ヶ月児、2歳児、3歳児とその家族

②目的（意図）（**～という状態にするために**）・・・・・・この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

乳幼児の順調な発育発達の確認をするとともに、保護者が抱く不安や悩みの解消を行う

③手段（事業内容）（**～を行う**）・・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的（意図）を達成するか、事業の実施内容（サービスの概要）を記入します。

1	該当者に健診案内通知をする
2	問診・身体測定・医師等の診察・検査等の健診を行う
3	保健師による育児相談、管理栄養士によ栄養相談、歯科衛生士による歯科相談を行う
4	健診未受診者への次回案内と状況把握を行う

指標化

（3） 活動指標の設定と推移・・・・・・（2）の③サービスの概要（手段）の指標を表します。〔Do1〕

区分			単位	実績値 19年度	実績値 20年度	計画値 21年度（見込み）	計画値	最終目標年度 22	最終目標年度 年度（見込み）
①	指標名	健診受診率	%	94.0	93.6	95.0		95.0	
	説明	対象者に対する健診実施者の割合	目標値設定の根拠	実績より					
②	指標名								
	説明		目標値設定の根拠						

（4） 成果指標の設定と推移・・・・・・（2）の②目標（意図）の達成度を指標で表します。〔Do2〕

区分			単位	実績値 19年度	実績値 20年度	計画値 21年度（見込み）	計画値	最終目標年度 22	最終目標年度 年度（見込み）
①	指標名	要相談・要精検項目の発見率	%	44.5	43.5	45.0		45.0	
	説明	実施者に対する、各項目毎の受診更なる相談の勧めを必要とする者の割合	目標値設定の根拠	実績より					
②	指標名	健診未受診者かつ状況未把握者の割合	%	2.4	2.4	1.0		0.0	
	説明	対象者に対する状況未把握者の割合	目標値設定の根拠	状況把握は必要であるため。					

（5） 総事業費（コスト）の推移 〔Do3〕

※事業費の算定方法 ☒ 決算書・予算書等に記載の数字 ☐ 按分計算による算定

		平成19年度決算	平成20年度決算	平成21年度見込み	平成22年度見込み
○総事業費（コスト概算） ＝①＋②	（千円）	4,284	6,341	5,763	5,850
対前年比	%		148	90.9	101.5
A）その他の財源（国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など）					
B）一般財源（税金）					
①事業費	（千円）	1,960	3,241	2,683	2,683
対前年比	%		165.4	82.8	100
②人件費の概算	（千円）	2,324	3,100	3,080	3,167
対前年比	%		133.4	99.3	102.9

	課長 H20	課長 H21	課長 H22	課長補佐 H20	課長補佐 H21	課長補佐 H22	係長 H20	係長 H21	係長 H22	一般職員 H20	一般職員 H21	一般職員 H22	延べ人数 H19	延べ人数 H20	延べ人数 H21	延べ人数 H22	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員（正規職員）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.49	0.48	0.49	0.36	0.49	0.49	0.50	2,324	3,100	3,080	3,167
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。（人件費計算式）シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

（6） 項目別評価 〔Check〕

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している	
	2. 町（行政）が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となるとなる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する	
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的（意図）の設定は妥当ですか	A	A 目的（意図）は明確で上位の施策に合致している B 目的（意図）は上位の施策に合致していない点がある →	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか（成果指標の目標値への達成度）	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか（町以外の取り組みも含めて）	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください
効率性	7. 成果を下げずにコスト（事業費・人件費）を削減できますか	B	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容（サービス）に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 健診時に関わるスタッフが各々のセクションで保護者等の声を聞き、事後のカンファレンス時にスタッフ間で共有している。

（7） 改革改善 〔Action〕

今後の方向性（上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。） 口を一つチェックしてください。

☒ ア. 現状のまま継続する　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

〈今後の展開方針〉（イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください）

- ☐ a 重点化する（コストを集中的に投入する等）
- ☐ b やり方を改善する（実施主体や実施の手段を変える）
- ☐ c 効率化を図る（コストを下げる）
- ☐ d 縮小する（簡素化する）
- ☐ e その他（別事務事業に統合する等）

（ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください）

時期（年度）	

事業改善の経過

（事業改善をした内容と実施時期を記入します。）

月齢ごとの健診事業評価でなく、一連継続した事業として評価した。

事業の方向性の具体化

（誰が、何を、いつまでに、どうするか（5W1H）等の改革改善案を記入します。）

月齢ごとの健診内容の見直し検討を、21年度までにおこなう。

21年度予算見積書への反映　☐ あり　☒ なし

〔反映内容〕

（8） 所属長 所見 （事務事業の総合評価及び今後の方向性について）

（評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。）

少子化や核家族化が進むなか、母子の健やかな成長を支援する事業のため継続する。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- ☒ A. 貢献度 大
- ☐ B. 貢献度 中
- ☐ C. 貢献度 小
- ☐ D. 上位施策なし

（今後の方向性 口を一つチェックしてください。）

☒ ア. 現状維持　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

→ ☐ 上記 a～e を選択